

単元名 ゲーム(ボールゲーム)ボール蹴りゲーム

配当時間 10時間

- 単元の目標 (1) 簡単なボール操作と簡単な攻めや守りの動きなどのボールを持たないときの動きによって、易しいゲームをすることができる。
- (2) 楽しくゲームをするために、簡単な規則を工夫したり、攻め方を選んだりするとともに、考えたことを友達に伝えることができる。
- (3) 運動遊びに進んで取り組み、規則を守り、誰とでも仲よく運動をしたり、勝敗を受け入れたり場や用具の安全に気を付けたりしようとする。

標準的な展開例

01100303_001

【準備等】 サッカーボール、ビーチボール、ソフトサッカーボール、ダンボール箱、カラーコーン、ハードル、対戦表など

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 ボール蹴りゲームのねらいと内容を理解し、学習の進め方について見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習のねらいや進め方を知る。 ★友達と仲よくボール蹴りゲームをしよう。 ○マナーや安全な運動の仕方について知る。 ○足を使ってボールで遊ぶ。 <ul style="list-style-type: none"> ・足裏でボールタッチ、ドリブル、2人組で対人パスなど <p>2～5 足を使ってボール遊びをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○1人で足を使ったボール遊びをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・足裏でボールタッチ、ドリブル、リフティング、的当て(箱、カラーコーン)、的通し(ハードル)など ○2人以上で足を使ったボール遊びをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・2人組で対人パス ・ボールの取り合い ・守りをつけて的当てなど ○反省し、まとめをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・楽しかったこと、できたことなど <p>6～9 簡単なルールで友達と仲よくシュートゲームを楽しむ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○チームをつくる。 ○足を使ったボール遊びをする。 ○ゲームの進め方の確認をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ルール、マナー、対戦相手 <p>○チームの課題や作戦を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○第1ゲームをする。 ○反省し、練習をする。 ○第2ゲームをする。 ○反省し、まとめをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ルール、マナー、作戦など <p>10 シュートゲーム大会をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○リーグ戦やトーナメント戦でシュートゲーム大会をする ○単元のまとめをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・足でボールを操作し、ルールやマナーを守って、友達と仲よくゲームをすることを知らせる。 ・できるだけ人数分ボールを用意する。 ・蹴ったボールが顔に当たることがないように適当な間隔をとって行わせる。 ・サッカーボールの他にビーチボールやソフトサッカーボールなどいろいろなボールを用意する。 ・足のいろいろな部位を使って蹴らせる。 ・1チーム4～6人、男女混合で編成する。 ・第2時～第5時に行った遊びをチームで選んで行わせる。 ・いろいろなチームと対戦することを知らせる <p><ルールの例> ボールが相手のゴールラインを越えたら1点 ボールは足で止める ボールを止めた人がシュートする 1ゲーム4～6分など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題や作戦を考えられないチームには、話し合いに教師が加わって助言する。 ・ゲームの結果から、課題にそった動きができていないチームやまとまりのないチームに助言していく。 ・第1ゲームとは別のチームと対戦させる。 【評】シュートゲームを通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 【評】作戦を工夫してゲームをする活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。 ・試合方法は、学級の実態に応じて決める。 【評】シュートゲーム大会を通して、「知識・技能」を評価する。 ・チームでの話し合いや自己評価などをさせる

【備 考】

ボールを蹴る運動を日常的に経験している児童は少ないため、ボールを蹴る運動に慣れさせることが大切である。また、集団対集団でルールを決めて行う活動の経験も少ないので、一人遊びを十分にさせて個々の欲求を満足させ、徐々に仲間と活動する時間を増やしていく。活動の中で、上手な蹴り方を教え合ったり作戦を工夫させたりする。

<運動遊びに意欲的でない児童への配慮の例>

- ・柔らかいボールを用意したり、大きなボールやゆっくりとした速さになるボールを用意したりする。
- ・行い方や課題を絵図で説明したり、活動内容を掲示したりする。
- ・勝敗を受け入れることが大切であることを話したり、安全地帯など場の設定を工夫したりする。